

Ⅰ 令和7年度 学力検査の結果と分析

〈第6学年〉	<u>全国学力調査 国語</u> ○ 「話すこと・聞くこと」においては、全国平均をかなり下回っている。特に「話し手の考えを比較しながら、自分の考えをまとめる」は課題が見られる。 ○ 「書くこと」においては、全国平均を上回っている。 ○ 「読むこと」においては、全国平均を下回っている。特に、「目的に応じて、文章と図表を結びつけるなどして必要な情報を見付けることができる。」は、課題が見られる。 ○ 「言葉の特徴」においては、全国平均を下回っている。「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使うこと」に課題が見られる。 <u>全国学力調査 算数</u> ○ 「図形」においては、全国平均を上回っているが、「数と計算」「測定」「変化と関係」「データ活用」では、全国平均を下回っている。特に「測定」は課題が見られる。 ○ 記述問題に課題が見られる。
〈第5学年〉	<u>県学力調査 国語</u> ○ 「書く」を除くすべての領域で県平均を下回っており、特に「読む」「話す・聞く」は、課題が見られる。 ○ 「漢字を書く」に課題が見られる。 <u>県学力調査 算数</u> ○ 「変化と関係」を除くすべての領域で県平均を下回っており、特に「測定」「図形」は、課題が見られる。
〈第4学年〉	<u>市学力調査 国語</u> ○ 「言語文化に関する事項」においては市平均を上回っているが、その他の領域においてはすべて市平均を下回っている。特に「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」においては、課題が見られる。 ○ 「書くこと」においては、「書く内容の中心を明確にして、文章の構成を考えること」に課題が見られる。 ○ 「言葉の特徴」においては、「漢字を正しく書くこと」に課題が見られる。 <u>市学力調査 算数</u> ○ どの領域においても、市平均を下回っており、特に「図形」は課題が見られる。 ○ 記述問題に課題が見られる。
〈第3学年〉	<u>市学力調査 国語</u> ○ 「話すこと・聞くこと」「読むこと」においては、市平均を上回っているが、「書くこと」においては、市平均を下回っている。 ○ 「漢字を書く」に課題が見られる。 <u>市学力調査 算数</u> ○ 「データの活用」においては、市平均を上回っているが、「数と計算」「図形」においては、市平均を下回っている。「図形」は課題が見られる。 ○ 記述問題に課題が見られる。
〈第2学年〉	<u>Ⅰ学期業者テスト</u> ○ 国語「知識・理解」「思考・判断・表現」、算数「知識・技能」「思考・判断・表現」において、本校の量的な評価基準におけるB評価(80%以上 95%未満)を上回っている。
〈第1学年〉	<u>Ⅰ学期業者テスト</u> ○ 国語「知識・理解」と算数「思考・判断・表現」が本校の量的な評価基準におけるB評価(80%以上 95%未満)の基準内であり、国語「知識・理解」と算数「思考・判断・表現」は、B評価を上回っている。

2 重点課題

【本校児童の重点課題】

学力調査の結果及び普段の授業の様子から、本校児童の「書く力」にはある程度の向上がみられた。学力向上をめざして更なる「書く力」の伸びをめざす時、以下の3点について課題が見られた。

- ① 文章の内容、問いの内容を理解すること。
- ② 自分の考えを形成し、記述すること。
- ③ 話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりして、考えの形成に生かすこと。

そこで、本校では重点課題である「書く力」と、それと密接な関りをもち一体的な指導が必要な「読解力」を含めた「思考力・表現力」の改善に向けた「外海スタンダード（思考力・表現力向上に向けた取組）」を設定し、学力の向上を図ることとする。

3 数値目標

令和7年12月のCRT検査観点別得点率、令和8年度学力テストの観点別正答率において、それぞれ個人で前年度の値＋3ポイント(市、県、全国比)を目指す。

4 9月からの各学年の取組

学年	方策	成果の検証
〈第6学年〉	・「語彙力が身につく問題集」をプリントに印刷し、休みタイムに行い、語彙力を高める。 ・音読練習(国語の教科書、社会の教科書)を授業と家庭学習の両方で充実を図る。 ・新出漢字の練習を授業の中にきちんと位置付け、練習、ミニテスト、まとめテストと繰り返す中で、学習意欲の向上と定着を目指す。 ・「キュービナ」を使い、「言語事項や言葉の意味と使い方」の学力向上を図り、「アシストシート」を使い、「活用力」の向上を図る。	・課題プリントや単元末テストでの検証を行う。
〈第5学年〉	・「語彙力が身につく問題集」をプリントに印刷し、休みタイムに行い、語彙力を高める。 ・音読練習(国語の教科書、社会の教科書)を授業と家庭学習の両方で充実を図る。 ・新出漢字の練習を授業の中にきちんと位置付け、練習、ミニテスト、まとめテストと繰り返す中で、学習意欲の向上と定着を目指す。 ・「キュービナ」を使い、「言語事項や言葉の意味と使い方」の学力向上を図り、「アシストシート」を使い、「活用力」の向上を図る。	・課題プリントや単元末テストでの検証を行う。
〈第4学年〉	・図表や写真などを含む説明的な文章の指導の充実を図る。→それぞれの資料の関係性を明らかにするために、印を付けたり、線で結んだりしながら読む。 ・音読練習を充実させたり、キュービナを活用させたりして、読む力、語彙力を高める。 ・視写、聴写練習を充実させる。その際、既習漢字は必ず漢字で書くようにさせる。	・課題プリントや単元末テストでの検証を行う。
〈第3学年〉	・図表や写真などを含む説明的な文章の指導の充実を図る。→それぞれの資料の関係性を明らかにするために、印を付けたり、線で結んだりしながら読む。 ・音読練習を充実させたり、キュービナを活用させたりして、読む力、語彙力を高める。 ・視写、聴写練習を充実させる。その際、既習漢字は必ず漢字で書くようにさせる。	・課題プリントや単元末テストでの検証を行う。
〈第2学年〉	・キュービナの前月の実施状況を振り返らせ、教師とともに自分のめあてを立てさせる。宿題の「音読」「漢字練習」について、自分のめあてを立てさせ、振り返りをさせる。 ・国語科「紙コップ花火の作り方」「おもちゃの作り方をせつめいしよう」において、本文と図表との関係、順序について、指導事項(2)情報の扱い方を重視して、指導する。 ・「休みタイム」においてアシストシートを活用して、国語科で学習した内容を、設問の内容と結び付けることができるようにする。	・課題プリントや単元末テストでの検証を行う
たんばぼ学級	・T式指導法を通して、「ひらがな」や「カタカナ」の音読の強化を図る。 ・教科書の文章に色分けしながらサイドラインを引くことで、読解力を高める。 ・計画的に「Form」を活用し、授業の終末に小テストや振り返りを実施することで、身に付けさせたい「読む力」の定着を図る。 ・毎日5分間、視写及び聴写を実施することにより、「書く力」の基盤の強化を図る。	・課題プリントや単元末テストでの検証を行う。
〈第1学年〉	・音読練習(教材文、教材文以外の詩の音読・暗唱)を充実させたり、キュービナやプリント等を使ったりして、語彙力の向上を図る。 ・週末日記に取り組み、表現力の向上を図る。 ・「休みタイム」において、アシストシートを活用して、読み取る力を付け、答え方に慣れさせる。	・課題プリントや単元末テストでの検証を行う。